

第1章 はじめに

(1)「下水道技術開発会議」発足の背景とその役割

平成26年7月に公表された「新下水道ビジョン「循環のみち」の持続と進化」では、技術開発と普及展開に関して、「『循環のみち下水道』の成熟化」の実現を促進するため、国、事業主体、研究機関が連携し、他分野の技術も積極的に取り入れ、計画的・効率的な技術開発を実施するとともに、開発された新技術を国内外に普及させる、という目標が掲げられた。また、新下水道ビジョンにおける技術開発と普及展開の目標を達成するための具体的な施策として以下の諸点が定められている。

- ・ 国は、地方公共団体、研究機関（民間企業を含む）とも連携し、産学官において今後開発すべきハード・ソフト技術の分野・内容等を明確にするため、下水道に係る中期的な技術開発計画を取りまとめ、公表する。
- ・ 策定後も、産学官連携し、同計画のフォローアップ、さらには、新たな技術開発テーマを議論する「場」を設定する。
- ・ 各機関は、上記の技術開発計画を踏まえ、技術開発を実施する。

さらに、平成27年2月の社会資本整備審議会答申「新しい時代の下水道政策のあり方について」では、「〈下水道技術ビジョンの策定〉地方公共団体のニーズの把握、他分野を含めた幅広い技術シーズを踏まえ、産学官連携のもと、中期的な下水道技術ビジョンを策定すること。同ビジョンにおいては、今後開発すべきハード・ソフト技術の分野・内容等を明確にし、分野ごとに技術の熟度に応じたロードマップを作成すること」とされた。

これらを受けて、国土交通省国土技術政策総合研究所（以下「国総研」という）では、下水道技術ビジョン検討委員会を設置し、平成27年12月に「下水道技術ビジョン」を策定している。下水道技術開発会議は、下水道技術ビジョンのフォローアップと技術開発の推進方策を検討するために、前記の産学官連携した議論の「場」として設けられたものである。当会議は、平成28年1月に発足し、同月21日に初回会議を開催した。

(2)これまでの会議の開催状況

平成28年1月21日の初回会議では、当会議の検討事項として表1-1左欄の6項目を掲げている。一方、下水道技術ビジョンでは、そのフォローアップの方策として、次の諸点を挙げている

- ①技術開発の進捗度の確認と推進方策の評価
- ②社会情勢等の変化に対応した新たな技術開発テーマの検討
- ③新技術に対する需要と要求性能
- ④重要な技術開発テーマのプログラムと目標の検討

これらの検討事項の関係を整理すれば、表1-1の通りとなる。

平成28年度の会議では、表1-1に示された事項について順次具体的な検討を進めた。各検討事項と本レポートの記載箇所の関係についても同表の右欄に示した。

表 1-1 下水道技術開発会議における検討事項

| 当会議の検討事項 (H27 年度会議で提示) | 下水道技術ビジョンに示された フォローアップの方策 | 平成 28 年度の 主な検討事項 (該当する記載箇所を表記) |
|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| (1) 下水道技術ビジョンのフォローアップ a. 新技術に対する需要 b. ニーズとシーズに関する調査 c. ロードマップの見直し方法 | → ③新技術に対する需要と要求性能 → ②社会情勢等の変化に対応した新たな テーマ検討 → ② ” | →2章(2) →2章(1) →3章(2) |
| (2) 技術開発の推進方策、検討事項 a. 優先的に行う技術開発テーマの検討 b. 新技術に対する要求性能の提示・検討 c. 情報の交換・集約体制 | → ④重要な技術開発テーマのプログラム と目標の検討 → ③新技術に対する需要と要求性能 → ①技術開発の進捗度の確認と推進方策 の評価 及び④ | →3章(1) →4章(1) →4章(1)(2) |

平成 28 年度は 3 回の会議を開催した。会議の開催状況、主な議事は次のとおりである。

○平成 28 年度第 1 回 (第 2 回会議)

日時： 平成 28 年 7 月 5 日 (火) 14 時～16 時 30 分

場所： 公益社団法人日本下水道協会 第 1・2 会議室

主な議事： 技術シーズ、ニーズの把握

「ロードマップ重点課題」の検討

ロードマップの改定手順

技術ビジョンのフォローアップ

○平成 28 年度第 2 回 (第 3 回会議)

日時： 平成 28 年 10 月 24 日 (月) 14 時～16 時

場所： 公益社団法人日本下水道協会 第 1・2 会議室

主な議事： 新技術ニーズ調査の詳細分析

新技術に対する需要の予測

下水道技術情報の交換、集約、発信の方策

技術ビジョンのフォローアップに向けて

その他

○平成 28 年度第 3 回 （第 4 回会議）

日時： 平成 29 年 1 月 26 日（木） 14 時～16 時 30 分

場所： TKP 東京駅前カンファレンスセンター 9A 会議室

主な議事： 下水道技術ビジョンのフォローアップ（新技術導入上の課題、
これまでの議論の整理）
技術ビジョン・ロードマップの一部改定
下水道技術開発レポート 2016（案）
次年度の会議の運営について

なお、平成 28 年度第 1 回会議の審議を経て、下水道技術ビジョン「ロードマップ重点課題」（平成 28 年度）を選定し、7 月 15 日に公表している（詳細は第 4 章（1）参照）。

<http://www.nilim.go.jp/lab/eag/roadmap-juten.pdf>

また、当会議の会議資料・議事録については、国総研下水道研究部のホームページで公開している（一部検討途中の資料等は未公開）。

<http://www.nilim.go.jp/lab/eag/gesuidougijyutsukaihatsukaigi.html>

平成 28 年度第 3 回会議の審議を経て了承された、下水道技術ビジョン・ロードマップの一部改定を踏まえ、改定版の下水道技術ビジョンを国総研下水道研究部のホームページで、平成 29 年 2 月 2 日に公開した。

<http://www.nilim.go.jp/lab/eag/gesuidougijyutsuvision.html>